

## 指定管理業務評価表

施設名	小牧南児童館		
対象年度	令和元年度	評価担当部	こども未来部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
職員体制	常勤職員：4人	非常勤職員：7人	合計：11人

### 1. 利用実績

#### (1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	7,309	7,283	8,864	10,545	12,623	8,350	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	7,905	7,245	6,330	6,409	6,380	53	89,296

#### (2) 増減要因

2月末～3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館していたが、休館前までの利用者数は昨年度と比べて増加している。子育て支援室の利用者が大幅に増加しているのが要因と考えられる。

### 2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和元年 10月28日～11月27日（共通） 令和元年 5月（コミュニティと合同） 令和元年 11月（コミュニティと合同）	回答数	222人 296人 208人 計726人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日喜んで楽しそうに児童館へ行く子どもの姿をほほえましく思う</li> <li>・特に不満もなく、親子共々楽しく快適に遊んでいる</li> <li>・季節のイベントなど家ではできないことを体験させてもらえるので、子どもだけでなく大人も楽しい</li> <li>・木の線路をもっと充実してほしい</li> <li>・駐車場の一方通行がわかりにくいため危ない</li> </ul>		
具体的な対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の線路を創作活動室だけでなく、図書コーナーにも設置</li> <li>・看板を見やすい位置に設置しなおし、薄くなっていた白線を塗り直した</li> </ul>		

## 3. 収支の実績

(単位：円)

		30年度 (前年度決算額)	元年度 (現年度決算額)	2年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	26,800,000	29,100,000	30,500,000	年間委託料
	精算金	0	-5,093	0	
	合計	26,800,000	29,094,907	30,500,000	
支出	人件費	23,181,963	24,767,683	25,954,000	職員給与
	報償費	143,954	118,386	245,000	講師謝礼
	旅費	18,328	90,991	115,000	交通費・研修参加費
	需用費	471,115	478,994	445,500	児童館活動費等
	役務費	614,255	603,109	731,000	保険料等
	委託費	0	0	0	ピアノ調律等
	その他	1,841,200	2,859,500	3,009,500	間接費・負担金等
	合計	26,270,815	28,918,663	30,500,000	
差し引き収支		529,185	176,244	0	

#### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。日常の来館者への対応や行事・イベントも適切に実施されている。</p> <p>また、コミュニティセンターとの複合施設として、地域運営協議会を中心に地域と協力して運営を行っており、多くのイベントを共催している。</p>
維持管理業務	<p>毎日館内の安全点検が実施されている。併せて玩具の破損等がないかの確認、消毒、洗浄を行っており、適正な維持管理として評価できる。</p>
自主事業	<p>外部企業や団体と連携し、食育や救命救急等、子育てに有益な講座を開催し、保護者からも好評を得ている。</p> <p>「こどもプランナー」の活動では子どもたちが発案から実行までを行い、館の様々なイベントに関わった。子どもの主体性や社会性を養い、仲間づくりを学ぶ機会となった。</p>
サービスの質	<p>研修に積極的に参加し職員のスキルアップを図り、利用者の満足度向上に努めている。</p> <p>利用者からの意見に対しても適切な対応がとられている。</p>
収支状況及び経費節減	<p>資金管理については、計画どおりの収支状況となっている。職員で講師を行ったり、紙の再利用などを日常的に行ったりして、経費節減に努めている。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>コミュニティセンターとヒヤリハットの事例を共有して、日常の危機管理に努めている。また、危機管理マニュアルも整備・保管されている。</p> <p>社内の監査委員を児童館へ派遣して館内の安全監査を行い、館内の危険箇所を改善している。</p>